

令和2年度第1回八幡平市環境審議会 会議録

日 時	令和2年10月27日(火) 10:00から12:00
場 所	八幡平市役所 大会議室
内 容	1 開会 2 市長あいさつ 3 会長・副会長選出 4 会長あいさつ 5 議事 (1)環境基本計画年次報告(令和元年度実施状況)について 6 その他 7 閉会
出席者	【委員14名】 竹原明秀委員、沖野智章委員、遠藤忠志委員、千田康洋委員、高橋正志委員 高橋富一委員、田中耕一委員、片野正子委員、畑山勝美委員、高橋恵子委員 三浦史人委員、田村正之委員、芳門重信委員、浅利一成委員 【事務局等】 田村市長、津志田総務課長、田村企画財政課長、渡辺地域振興課長 松村地域福祉課長、佐々木農林課長、遠藤商工観光課長、藤村建設課長補佐 堀口上下水道課長補佐、葛西西根総合支所長、阿部安代総合支所長 遠藤農業委員会事務局長、工藤教育総務課長 (事務局：市民課) 小笠原市民課長、多田課長補佐、工藤環境企画係長、土村主任
議 事	(1) 八幡平市環境基本計画(令和元年度実施状況)について

会議録	
	1 開会
	2 市長あいさつ
	3 会長・副会長選出
	4 会長あいさつ
	5 議事 (1) 環境基本計画年次報告(令和元年度実施状況)について
	(1) 環境基本計画年次報告(令和元年度実施状況)について
事務局	基本目標1について説明。
	質疑応答(基本目標1について)
会長	1-1-1について、Cという評価が出てしまいましたが今回は天候が悪かったということで参加人数が少なかったということなのですが、これは、内訳が書いておりますが400人というのは併せてという意味での設定ですか？
事務局	合わせて400名です。平成30年度は合わせて400名でしたのでAという評価でし

	た。
会長	平成 30 年度は、八幡平市から何人参加していましたか？
事務局	昨年度の松尾中学校の人数は、今はわかりかねますが、ちなみに今年度、松尾中学校は参加しましたが、先生を含めて 37 人ほどの参加でしたので 40 人ほどの参加となっております。
事務局	平成 30 年度は松尾地区からは 225 名の参加でした。
会長	これは、天候次第なので仕方がないですけれども今後考えなければなりませんね。
委員	外来種駆除というのは、法律にも定められておりますように取扱いに気を付けて実施していかなければならないと思うんですが、実際の外来種の量、発生面積が減ったのか、実施はしたんだけどその後どうなったのかというのが 1-1-1 ではわからないし、1-1-3 でも状況がわからないのですが、その辺はいかがでしょうか。面積が減ったとか、外来種の種類が減ったとかそういうデータはありますか。
会長	1-1-1 は、国立公園内ですね。市内のオオハンゴンソウということではないですね。あくまでも、国立公園内の道路等でのイベントですよ。ですのでたぶん、面積的なものは減っていないのじゃないかな。量的には減ったかと思えますけども。ブタナとか環境省が定めている特定外来植物ではなくて、国立公園としてふさわしくない外来種の駆除にあたりますので、1-1-3 とは内容的に異なっている。もう十数年やっているのでも量的には減っているけども、やはりまだ点在しているという状況ではないでしょうか。ですので毎年何グラム駆除したということはわかんと思えますけども、現在どのくらい残っているのかということは評価しづらいものかと思えます。
委員	人数は書いてありますけどもやった結果良かったのか悪かったのか、もっと頑張らなければならないのか、減らしてもいいのか、イメージがわからないのですが。
事務局	1-1-1 に関しましては、外来種を駆逐するというのが目的ではなくて、中学生を中心とした環境教育で、国立公園内に外来種がありますよと、この行事は 1 日だけのイベントですがそういう教育面のほうを目的にしておりますので、この活動によってどんどん減らしていくということではなく、もちろん駆除しているのでその分は減るわけですが、目的がそうだというふうにとらえていただきたいと考えております。
会長	本格的にやるとなると、道路際の急斜面を登ったりとか、中学生には難しいので道端のものを取っている状況で基本的には明らかに減っていると思います。ただ、すべて無くすまでにはっていない。 むしろ問題なのは 1-1-3 の特定外来生物のほうがある再生することあるのでこちらの問題のほうが大きいです。
事務局	1-1-3 でございますけれども、面積については把握していない状況でございますが、ただ、環境省のホームページのデータによりますと、オオハンゴンソウが当時は盛岡から南のほうに植生があったんですけどもここ 10 年でかなり北上してきておりまして八幡平市内でも見かけるようになってございます。民家の庭、花壇の中にもありますし、道路沿いにもありますし、岩手県よりもかなり北のほうに広が

	<p>っているという状況で、この中での取り組みといたしましては、見つけたら駆除しましょうという様な呼びかけをホームページに掲載をしているところでございます。駆除の方法については、それを除去するには刈り取りだけでは不十分で根を引き抜くのが有効と、あと種をこぼさないように注意が必要という説明を加えながら駆除の正しい方法について呼びかけているというのがこの中の取組ということで、積極的に駆除していこうというところまでは至っていないという状況でございます。</p>
会長	<p>秋で黄色い花というほとんどオオハンゴンソウになっているので、例えばその後の遊休農地の問題にも含めてからんでくるんですね。遊休農地の真ん中に出てくるのには時間がかかりますけれども、周囲からどんどん増えていて、草刈が増えてしまう問題もあり、解決に10年くらいかかったという例もインターネットにはありますので今後気を付けなければならないといいますかすぐにでも対策を打たなければならないものだと思っております。そのためには、1-1-6の耕作放棄地と関連させていただいぶ遊休農地面積は解消されたようではございますけれども、334haというのは相当な量だと思っておりますけれども今後、どうなんでしょうか、増えていくんでしょうか。耕作放棄地の再利用についてもまだ実績がない状況ではございますけれども、環境のところでは議論することではないとは思っておりますけれども、農業は八幡平市のうりの部分でもあると思っておりますけれども。</p>
事務局	<p>遊休農地につきましては、八幡平市もそうなのですが、中山間地では再生するとしても、農家の高齢化、後継者不足という問題もあり特効薬的なものは無い状況ですので、どうしても少しずつ増えていってしまうというふうに認識しております。</p>
市長	<p>オオハンゴンソウはどのような問題があるのか。</p>
会長	<p>外来種が入ってくると、繁茂して、そこに生えている在来種を駆逐してしまうということで空き地があるとどんどん入ってくる。そのため、今までの草刈の手間が増えるという。</p>
市長	<p>田んぼのクロに5、6年前から生えてくるようになった黄色い花。</p>
会長	<p>そうです。2mくらいの大きさになります。</p>
市長	<p>田んぼのクロのはそのくらい大きくはならないので違う種なのか。</p>
委員	<p>長者屋敷のほうに大きいのが生えています。それは、私が駆除したんですが。</p>
会長	<p>7月頃に草刈をしてもそこからまた再生して50~100cm位の小型になり花をつける。田のクロは一回刈ったものかもしれません。</p>
委員	<p>根っこから抜かないとどんどん増えてしまいます。根っこも簡単には抜けない状況になる。</p>
市長	<p>田のクロ草は早く刈っているからあの位になっているが刈らないと大きくなるのか？</p>
委員	<p>早く根こそぎやらないとどんどん増えます。</p>

<p>会長</p>	<p>今年、企業局の発電所の奥のほうへ調査に行ったんですが、そこもオオハンゴンソウがびっちり生えていました。ということは、少しでも空き地があって人間が出入りすると人間が増やしてしまう。国立公園の本体のほうにはまだ行ってないんですけども、今後行く可能性はあります。自然をうりにしている以上外来種は減らさないといけないと思います。</p> <p>植物の話もそうですが、有害鳥獣、ツキノワグマが出てきているかと思うんですけども、鹿・イノシシもすぐ目の前に来ていますので、この辺も対策を考えないといけないというふうに思っております。</p> <p>これは、1-1-8で達成度Aなんですけども、減少はしているんですけども増加要因はあるということで考えていかなければならないと思います。あと駆除実施隊員が4名増えたというのは喜ばしいことだなと思いますのでこれをもっと増やしていただきながら、実際に打っていただく方も若い人が増えていかないと今後相当厳しい状況となると思いますけれども。</p>
<p>市長</p>	<p>イノシシは越冬するのですか。</p>
<p>会長</p>	<p>越冬しますね。昔は足が短いので雪が降ると動けなくなるという話だったのですが、雪が減ったので。</p>
<p>市長</p>	<p>この辺に入ってきた、イノシシがここで乗り越えて住み着くというわけだ。</p>
<p>会長</p>	<p>そうです。特に今はトンコレラが問題なので豚を飼っているところは非常に危ない状況ですよ。工作物に対しては、掘ってしまうということがありまして、鹿とイノシシが両方来ると相当厳しい、鹿は2mの柵で高いところに張らなければならぬけれども、イノシシは逆に地面面の対策をしっかりしないといけないので、上下両方で狙われる可能性があります。すでに沿岸等は植物が無くなっている、山の中の。昔はここまで考えてなかったんですが、雪が減ったことで。</p> <p>今まで生物環境の話だけだったんですが、水辺については特に問題はないんですね。不法投棄は減っているとのことでこれからも、減らしていきたいですね。</p>
<p>委員</p>	<p>ちょっと戻りますが、5ページ、達成度評価がABCとーというのがあるんですけども、一の数値基準評価が困難ということなんですけれども、例えば、何とかを指導するとか、実施するとか、そういう項目では数値化することはできないとは思いますが、項目の取組として実施しているものであれば、実施したということで実施できたというのでA評価B評価というふうに評価をしていかないで一だけでは、やったのかやらないのか効果があったのかなかったのか埋もれてしまって分からなくなると思うんですね。実際達成度評価48項目のうち22項目が一という評価では、計画はどうなのかという？がつくんですよ、ですから、実施するというのであれば出来たということでAまたはBとかそういうふうな評価の仕方をしていったほうが良いと思うんですが。</p>
<p>事務局</p>	<p>数字を出せる出せないということで評価が困難な項目にしてきたのですが、確かに、やったやらないということであればやっている項目がほとんどですので今後評</p>

	<p>価の仕方なんですけれども、数字じゃない面の評価の仕方を組み入れていきたいと考えております。</p>
会長	<p>まとめが来年度になるんですね。さらに新たなものができることが予測されますのでその時には、評価をもう少し変えていく。ただこれ、達成度というのは、行政側が指導したものが結果として出来上がったのかどうかというのが達成度なので難しいですね。アピール（PR）しても、実際に住民の皆様方がそれに従ってやられているのかどうか判断難しいところと思うので数値化というのは難しいのかなと。</p>
事務局	<p>来年、次期環境基本計画を策定する年次になっておりますのでその時に、評価の仕方というところで数字によらないところの評価をできるような仕組みを考えていきたいと思っております。</p>
会長	<p>アンケートをやっていましたよね。</p>
事務局	<p>次期計画にあたっては、必ずアンケートをやりました。</p>
会長	<p>ですので10年間でどうかというところの評価もしていただきながらというやり方もあると思います。</p>
事務局	<p>10年前に質問したことを何個か入れないといけないと考えてございます。</p>
会長	<p>どうしても数量的な評価をできないところで評価は難しいと思いますが少し考えて頂きながら、あるいは、数を減らすですねなどというふうに考えていただければと思います。これはちょっと難しいと思います。</p>
	<p>基本目標2について説明</p>
委員	<p>2-2-3 水質調査の件です。毎年1回の測定となっておりますけれども、1回だとすごく私は心配なんです、数回行う必要があると思いますが、これが一つ目です。いかがでしょうか。</p> <p>それから2点目が、BOD2mgを超える箇所が1箇所あったということですが、これは基準値からオーバーしているということは法令違反に当たるわけですね。これは、ちょっと問題じゃないですか。この2点をお伺いしたいのですが。</p>
事務局	<p>法令違反ではないです。類型が2mg以下であればA、1mg以下であればAA、3mg以下はBという類型に入りまして、水道の3級水産の2級というところに入ってくる利用目的の適応性ではそうですので、2mgを超えてきても法令違反ではないです。2を超えたといいますが、2.1でしたのでそんなに悪い数値ではございませんでした。</p>
市長	<p>これはどこの川なの。</p>
事務局	<p>大更駅前水路でした。</p> <p>大更駅に向かって、ビジネスホテルさん側というか、町中から両沼側に抜ける水路の部分です。</p>
会長	<p>2.1であれば見た目は全く変わらないですね。色々な基準が公害ではありますが、河川のこれは法令違反どうのこうのは関係ないですね。</p>

事務局	回数については、これまでこれで足りているというような検討を加えたことがなくてですね、検査をする時期をちゃんと毎年同じ時期に実施するというにだけ注視しておりまして毎年調査は8月下旬に調査をするんですけどもそういった形で調査させていただいているんですけども、回数までは、年2回が良いのか3回が良いのかまでは考えておりませんでした。
会長	県もやっていますよね。月1回ぐらいですか。
委員	もっとやっていますけども、大きな変動は見られない。
会長	ちなみに八幡平市内は、測定はいかがですか。
委員	何か所かはあります。松川とかですけども年に4回とか5回ぐらいは行っております。
会長	問題となるようなところは出てないですよ。
委員	出てないです。
会長	もうちょっと精査させていただいて県のデータ等も用いて問題ないのであれば1回というような注釈でも入れていただければ。
事務局	わかりました。
会長	ごみの話とかりサイクルの話とか色々出てくるのですが、相変わらずごみは減らない。
委員	23ページですけども、不法投棄のパトロールの実施状況ということで平成30年、令和元年と載っていますけれども、これは、平成30年度に記載しているところと令和元年度に記載しているところで内容が違うので内容が違うのはいいのですが、平成30年度の所は完全に良くなったという解釈ではなくて、たまたま大更をチェックしたから平笠もいっぱいありますけれど、また翌年は大更のほうをチェックしたという意味ですか。それとも平笠のほうは全部解消されたという意味ですか。
事務局	不法投棄に関しては、見つけたその都度回収という様な形で対応させていただいております。パトロールに関しては各地区の公衆衛生組合連合会の役員さんをお願いをして地区内を巡回していただいているような状況ですので、その都度不法投棄案件が出たらそれを市のほうでごみのほうは回収させていただいて、また次の年にたまたま同じような場所で見つかっているケースもありますし、新しいところが出てきているというものもございます。 加えて、長期化している案件もこの中に含まれておりますけれども西根地区に2か所ございまして、それにつきましては、県央保健所と連携しながら、産廃ゾーンをお願いしながら、指導をしていただいているところでございます。それ以外につきましてはいま担当がお話したようにその都度回収しているところでございます。
委員	平成30年度に問題があったところは大体は片付けてありましたよとこういうことですよね。で、違う場所で1年でまた出たので片付けてありますよということになりますよね。見つけたものに関しては。

	<p>一点だけ場所を教えてくださいなのですが、市道若林線というのはどこなんですか。</p>
事務局	<p>県道の焼け走り線を大更方面から焼け走りのほうに向かって登って行って高速道路を過ぎて左に入る市道。あれが若林線ですね。</p>
会長	<p>これは、具体的に重さなど、何キログラム回収したか記録はありますよね。</p>
事務局	<p>それぞれの箇所で重さを残している案件もあるんですが、全部は残っていないんです。すみません。</p> <p>廃家電については、リサイクル手数料を市が払っておりますのでその部分については数字が残っております。</p>
会長	<p>やはりなかなか減らないものなんでしょうね。ごみに対しては、分別もさらに厳しくなりますよね。</p> <p>22 ページの一番上の所ですけれども、令和2年8月からのことがあります。これは元年度の報告書なので書かないですよ。古着回収中止となっているところです。</p>
事務局	<p>本来書くべきではなかったのですけれども、お知らせのために書いてしまいました。ここは、削除します。</p>
会長	<p>ごみはなかなか減ってないんですね。総量で書いてあるので一人当たりの量は、21 ページの全体のは解るんですけれども、一人当たりというものが、下に令和元年の実績の枠の中に書いてあるのですけれども、平成30年はどうなんですか。一人あたりは増えたんですか。</p>
事務局	<p>平成30年度は、1人当たり731gでしたので、30g強増えています。</p>
会長	<p>その辺も記載しておかないと皆さんになかなか分かってもらえないです。</p>
事務局	<p>今の731gというのは、平成30年度の数字でございまして、26年度まで振り返ってみますと26年度が720g、27年度が712g、28年度が712g、29年度が710gと29年度までは減少しておりましたが30年度に増えたという、長いスパンで見るとそういう状況でございます。</p>
会長	<p>ごみの分別だとか、ごみを減らそうという意識はあるんですが、やはり増えてしまっているのが現状なんですよ。</p>
事務局	<p>ごみの現状についてでございますが、21ページのグラフを見てもらうと、平成30年から令和元年で増えているわけですけれども、人口減少で、普通はごみが減っていくんじゃないかという感じがするんですが、八幡平市の場合、人口は減っているんですけれども、世帯数は横ばいでさらにごみの量が増えているという状況になります。元年度までだとコロナの影響も無くてですね、観光の入れ込みも落ち込んではいないのでそういった部分で家庭のごみだけみるとあれなんですけれども、増える要素が市民課の中でも分析ができていない状況でございます。</p> <p>これは、全県的な傾向でもあるようでして、平成30年度の概要がございましてけれども、八幡平市の増加に比べるとわずかなんですけれども生活系のごみにつきましては、全県的に微増ではありますが増えている状況です。全体的に増えている状況という傾向にはあるということでこれについては、先ほど申し上げましたと</p>

	<p>おり分析はしなければならぬと考えておりますけれども、コロナの関係など、これはコロナの関係ではないですけれども、それに加えて今はごみの量が増えている状況でございますのでごみの減量化につきましては二酸化炭素の削減のほうでも、ごみ減量化、プラスチックのごみ処理等々の課題がございますのでその中で取り組んでいきたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。</p>
	<p>基本目標3について説明</p>
会長	<p>景観ということですが、基準値が高いものも何件か見られるが、あと1箇所3-2-3でCからBに上がったところがあるようですが、3-3-3はAからBに下がったということですね。すべて上昇するというのは難しいと思います。</p>
委員	<p>3-1-2で定期的に草刈をやっていただき、私の会社はそこにあるんですが、本当にありがとうございます。今後の取組で気になったところなんですが、あそこに桜の木がありかなりきれいなんですけれども、ちょっと病気にかかっているみたいなんですけれども、テングス病なんじゃないかと、葉桜になってしまって非常に気になるのでその病気を治していただくとさらにあその斜面の所がきれいな桜で、あそこは道の駅もあるものですから景観的にすごくよくなるのではないかなと思いますので今後の取組として検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>その桜については、確認しておりませんでしたので確認しながらですね、対応できるものは対応していきたいと思います。</p>
会長	<p>弘前公園の桜の話とかを聞くと土壌改良が必要だという話ですね。テングス切っただけではなくて土の改良をすると同時に根元の菌が材のなかに入ってしまうわけですね。最悪の場合は、植え替えも考えないといけないのかなと。桜は、実は根元にキノコが出始めたら終わりという状況です。樹木医さんに相談されて、特に道の駅のそばであればやはり入り口なんで場合によっては新しいものに変えるなどしたほうがよろしいのではないかと思います。桜は60年で土を改良して、弘前の桜は百何十年持っているようですが、やはり普段から手入れをしなければいけません。</p> <p>看板の話もよく出てましたよね。不要な看板を撤去しなければいけないとか、看板に関しましては増えたのですが、実際には国立公園のプロジェクトによって増えたものですけども、市としては何かというのは特にあるんですかね。</p>
事務局	<p>満喫プロジェクトの一環として昨年度は2基、これは修繕ですね。色を塗り替えて躯体はそのまま再利用しました。このお金については、市のお金で修繕しています。看板類につきましては、老朽化等の状況を見ながら、ローマ字表記のないものあるいは、多言語化していないものについては、塗り直す場合は多言語化していく。国立公園、環境省なり森林管理署なり看板を設置していますが、山の中であれば茶系にするなど統一したものでやるということで、あまり、新しい物だったりごちゃごちゃしたものになってもイメージが悪いということになりますのでその辺は、皆様のご意見を聞きながら改修していきたいというところでございます。</p>
会長	<p>文化財関係も、文化財の看板も非常に最近よろしくないという話もあり、こちら</p>

	<p>は教育委員会になるかもしれませんが、そういう文化財の看板等も統一を図っていただければと思います。</p> <p>昨年までは、観光に関しては数が増えたという部分もあるが今後観光がどうなるかという非常に大きな問題があると思いますけども、3-3-3 ですか、これはどうなんでしょうかね。インバウンドの影響は令和元年度はあったんですか。</p>
事務局	<p>今、インバウンドという話がありましたが、かなり増えております。外国人宿泊者に関しましては、平成 30 年度が約 81,000 人ほどだったものが、元年度は、1 月から 3 月で若干影響があったにもかかわらず約 13 万人ということで増えております。これはやはり、上海便・台湾便の花巻空港までの直行便がでたということで増えておりました。今は、その便はなくなって、外国人の観光客がいないということでコロナが落ち着くまでは、今まで日本人が海外に行っていた日本人をどう取り込むかという様な話でございますが、G o t o とか県の宿泊割等やっていたというわけですが、結局はどこでもやっているという状況ですのでやはり八幡平ならではの魅力で売っていかねばならないというふうに思っております。</p>
会長	<p>環境の視点からみると人数が増えた、環境が悪くなったとならないような対応ですね、今後ともその辺は八幡平市の売りの場所なので十分環境に配慮していただければと思います。</p>
	<p>基本目標 4 について説明</p>
会長	<p>エネルギー関係ですが、いかがでしょうか。</p>
市長	<p>今、エネルギー関係の説明がございましたが、補足させていただきます。令和元年度 2 月 19 日ですよ。議会において八幡平市としてゼロカーボンシティを掲げますという宣言をさせていただいております。それが環境省にも認定されて全国で 64 番目の環境省による認定都市という、自治体ということになるかと思っております。昨日の菅総理の発言にもありましたけれども、日本としても 2050 ゼロカーボンを目指すということで表現をされておりますので、よそに先立ってそういう宣言をして取り組んでいくということでなにがしかの国の政策の導入を図りたいという期待をいただいているところです。35 ページの一番下段の所にも新電力会社云々と表現がありますけども、実はもうすでに地場のアスピーテライン沿いに建設された地熱発電では、あそこで発電された電力を地元の企業者のほうに若干安い金額で今提供させていただいております。今お話したように国の状況、ゼロカーボンをとらえて市としては、できれば今度 4 年後にできる安比地熱と今やっているいわて地熱さんの電力を利用した新会社、市も参加した新会社を作ってそれを全国に売ると、そういうふうなことも一つの大きな行政の目標としてやっていこうかなと今考えているところです。それによってかなりイメージも、ゼロカーボンを達成できる可能性が近くなるということですのでそういうことでこれから一つの大きな市としての取組の一つにできればなというふうに考えております。</p>
会長	<p>ゼロカーボンということが出ましたが、これは出さないというわけではなくてプ</p>

	<p>ラスマイナス0ということですよ。あくまでもほかのほうで二酸化炭素を吸うということで決してエネルギーを使うなどということではないので、そうすると森林が重要な役割を果たしていると思うのですが、森林保全に関しては、森林税が令和元年度は入っているのでしょうか</p>
事務局	<p>森林環境譲与税のことかと思いますが、入っております昨年度は2千万、今年はその倍入る予定となっております、使い方につきましては、令和元年度は私有林を中心とした材積といいますか森林の状況をヘリコプターで確認して森林所有者の方に森林事業を進めていこうという計画を建てましょうという段階で、あと何年か事業を進めていければなということ考えているところでございます。</p>
会長	<p>まだ具体的な補助というのは決まっていないのですか。</p>
事務局	<p>それ以外の用途につきましては、現在検討中でございます、実際は下刈りとか間伐とかという部分につきましては国・県にも補助金がございますのでそれをどのようにすみ分けて、森林環境譲与税を活用するのかは検討段階でございます、用途はまだ詳しくは決まっていない状況でございます。</p>
会長	<p>今後とも森林の整備というのはゼロカーボンと併せて色々な課題があると思いますので引き続き検討をお願いします。</p> <p>最初の4-1-1の市庁舎の排出量については第2回目にもう少し具体的な話があるんですよ。ここでは、おおよその所を見ていただければと思います。CO₂は減っているという様な状況です。</p> <p>自然エネルギーということで地熱発電が稼働を始めていると、さらに新規工事着工中の箇所があるということで新電力会社というのはやって行けそうですか？計画ということのようですね。</p>
市長	<p>十分にやっていけると思います。</p>
会長	<p>松川の建て直しの…</p>
市長	<p>あれも、全面更新という、あの、環境にも関わるんですけども世界にもあまりないような冷却塔を残せないのか、解体するのかわかり今議論しているようです。あれは歴史遺産みたいですが。</p>
会長	<p>そう、土木遺産になっていまして、日本で最初の地熱なのでやはり貴重な存在なので残したいのしょうけどなかなか、維持するの大変ですよ。</p>
市長	<p>残すのは危険だという…。</p>
会長	<p>あと、計画はまだあるのですか？</p>
市長	<p>まだ調査中ですが井戸は2か所ぐらい掘ってます。ジョグメックの事業で前森山の左裾のあたりに1箇所、その奥にまた1箇所、あの辺一帯はかなり有望。</p>
会長	<p>前にもあった太陽光パネルよりもこっちをやるということですよ。やはりエネルギーの消費じゃなくて、生産という格好で貢献されることが重要なことだと思います。</p>
	<p>基本目標5について説明</p>

会長	5-1-2のところでは金賞・銀賞・努力賞となっていますが、名前の問題ですが、努力しなきゃいけないというのは標準に達してないというふうに感じるの、もう少しいい名前をつけてもいいんじゃないでしょうか。
事務局	これは、市民課で評価しているものではなくて、県とか国のほうに出すものでございまして、そちらのほうから話が来たということでこうなっております。
会長	金賞とかはポスターとかになるのでしょうか。
事務局	そこまでは、ないです。
会長	使ったほうがよろしいですね。
	総括質疑
委員	5ページまで戻るんですが、計画の進捗状況で、今令和2年度ですが、基準となる年度が、平成26年度を基準として最終年度が令和3年度を目標としているわけですが、ここで、目標に対する評価というのを単年度ごとに評価されていますが、中期計画としての進捗は、書いているところと書いていないところがあるんですね。令和3年度例えば、100%になるために令和元年度はどこまで行っていなければならぬという様なことで各項目についての進捗状況がわかってくると思うんですね。累積値ですねいわゆる。単年度ごとの評価は出てますが累積の評価がほしいなということ。どこまで進捗しているのかというのがちょっとわかりづらい。だから、この項目はうまくいっている、うまくいっていない、方法を変えてみよう、もう少しテコ入れしようという発想がなかなか出てこないんじゃないかなと感じます。累積の評価をどう評価して表していくかということが次までに直してほしいなと思うのですが。
会長	考えなければならないことですが、実際に累積というのは難しいかと思うのですが、例えば平均値を使うとかいくつかちょっとやってみただけであればいいかなと思うんですけども。それに適する項目と適さない項目があると思うのでいくつかピックアップして出してくれますか。 ーの評価となっている所について検討していただければと思います。
委員	令和2年度の報告書は10月27日ですが、そうすると半年遅れというか本来ならばもっと早く、4月5月までに単年度の情報は知りたいと思うんですよ。それに基づいて新年度事業に反映させることができる。今の時期だと半年も遅れてしまうと、反映されるのが来年度になってしまう。今年度が死んじゃうんですね。もう少し前倒しで審議会も半年早めてくれればいいんじゃないかと。
会長	今年は特殊な理由なんだと思っていますけれども、前も夏前にはやってくれといった時もあります。事務局どうでしょうか。早ければよろしいことはよろしいのですが。
事務局	取りまとめについては、4月、5月の所で各課から行って、その後、まとめの書類として作成するという大きな流れがあります。例年今時期にやっておりますけれども、以前には8月に開催したことがありますのでそういったスケジュールに近

	づけるように今の10月の実施については、可能な限り早めていきたいと考えております。
会長	次年度は、あとまとめも近づいておりますので早めに報告していただければよろしいかと思っております。
委員	<p>色々な問題というのは少子高齢化と気候変動に収束していつているのかなという印象を改めて強くいたしました。地球温暖化についても緩和策と適応策とあるように、少子高齢化についてもそういうふうな、どう生きていくのかということも考えていかなければいけないのかなというふうに思っております。例えば、少子高齢化で人手不足という話をするとおそらく現在の若者たちが、何言っているの、俺たちがいるじゃないかと、声を上げていただけるんじゃないかと、そういうふうな意見を上げるというのがとても大事だというふうに考えております。それから、段々と最終的な評価というところの時期が近付いているわけですが、評価について思ったのですけれども、ちょっと指標値そのものにこだわりすぎないようにしないといけないなというふうに感じております。やはり、目的があって、目標があってその目標にどれだけ達成できたかというところを指標値で確認するということじゃないかなと思っておりますので、指標値自体が目標、最悪の場合はそれが目標となってしまうようにしなければいけないなというふうに思います。気になったのが、苦情件数0件というのが目標値にしているところがありましたけれども、これは苦情が発生しないような住みやすい街という意味だと思いますが、これはややもすると苦情に対して耳をふさぐと、電話を取らないということになると苦情件数0になりますよね。そうするとAになってしまうわけです。そうじゃなくて、仮に苦情件数が多くても小さな苦情を拾い上げてそして丁寧に対応した結果長い目で見て減らしていったという、むしろこちらのほうが市民の要望に応じていける活動じゃないかと、先ほどもやはり長期的なスパンでの評価というのは単年度じゃなく評価が必要だという話がありましたけれども、まさにそういう意味も含んでいるのかなというふうに思っております。あとですね、課題であるとか、これを解決しないといけないというコメントが多いですけれども、この計画を実行するためには様々な主体の方に協力をお願いして初めて実行できるということであればやはり良かったところをどんどん上げてこういうところは良かったというのを上げていかないとせっかく活動したのにダメだった、課題はこれだったという話ばかりにならないようにみんなでこの施策を盛り上げていくというふうなものにしていきたいと、また評価というのは非常に大事なことなので引き続き頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
	閉会